

## 令和6年度 通信教育実施計画 【現代の国語】

現代の国語	学年	1 学年	単位数	2 単位	課題	6 枚	面接	2 時間	使用教科書・副教材等	東京書籍「新編現代の国語」 東書 現国 701
-------	----	------	-----	------	----	-----	----	------	------------	-------------------------

### 1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に向けて、下記の目標を目指していきます。

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- ② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ③ 言葉がもつ価値への認識を深める。
- ④ 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 2 評価の方法

#### (1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活や専門的な学習に必要な国語の特質について理解し適切に使っている。	創造的・論理的思考や感性・情緒を働かせて思考力や想像力を伸ばし、他者や社会との関わりの中で、国語で的確に理解したり効果的に表現したりするとともに、実社会の視点から、新たな考えを創造する力を高めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会と関わったり、思いや考えを深めたりしようとするとともに、言葉の価値を認識し、自覚的に読書に親しんで言葉を効果的に使おうとしている。

#### (2) 評価の方法

ア 年6回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。

イ 年2時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況进行评估します。

ウ 年2回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。

#### (3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

### 3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名		自己を見つめる	他者に出会う	言葉と生活		社会と関わる
学習項目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こそそめスープ</li> <li>・ルリボシカミキリの青</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来をつくる想像力</li> <li>・水の東西</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキマが育む都市の緑と生命のつながり</li> <li>・無彩の色</li> </ul>	前期単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍋洗いの日々</li> <li>・森で染める人</li> </ul>
学習内容	添削課題ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み書き</li> <li>・語句の意味</li> <li>・文章読解</li> <li>・言語活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み書き</li> <li>・語句の意味</li> <li>・文章読解</li> <li>・言語活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み書き</li> <li>・語句の意味</li> <li>・文章読解</li> <li>・言語活動</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み書き</li> <li>・語句の意味</li> <li>・文章読解</li> <li>・言語活動</li> </ul>
添削課題		添削課題 回数①	添削課題 回数②	添削課題 回数③		添削課題 回数④
面接指導		面接指導 1時間				面接指導 1時間

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	世界とつながる		未来に目を向ける			
学習項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しさの発見</li> <li>・りんごのほっぺ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・不思議な拍手</li> <li>・真の自立とは</li> </ul>		後期単位認定試験	
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み書き</li> <li>・語句の意味</li> <li>・文章読解</li> <li>・言語活動</li> </ul>	復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み書き</li> <li>・語句の意味</li> <li>・文章読解</li> <li>・言語活動</li> </ul>	復習		復習
添削課題	添削課題 回数⑤		添削課題 回数⑥			
面接指導	(面接指導 1時間)					

## 令和6年度 通信教育実施計画 【言語文化】

言語文化	学年	第1学年	単位数	2単位	課題	6枚	面接	2時間	使用教科書・副教材等	東京書籍「新編言語文化」 東書 言文701
------	----	------	-----	-----	----	----	----	-----	------------	-----------------------

### 1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に向けて、下記の目標を目指していきます。

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ①生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- ②論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ③言葉がもつ価値への認識を深める。
- ④生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 2 評価の方法

#### (1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活や専門的な学習に必要な国語の特質について理解し適切に使っている。	創造的・論理的思考や感性・情緒を働かせて思考力や想像力を伸ばし、他者や社会との関わりの中で、国語で的確に理解したり効果的に表現したりするとともに、実社会の視点から、新たな考えを創造する力を高めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会と関わったり、思いや考えを深めたりしようとするとともに、言葉の価値を認識し、自覚的に読書に親しんで言葉を効果的に使おうとしている。

#### (2) 評価の方法

ア 年6回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。

イ 年2時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況进行评估します。

ウ 年2回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。

#### (3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

### 3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名		・随筆 生きる喜び ・小説1 触れ合う心	・詩歌 命をうたう			・小説2 葛藤する心
学習項目	添削課題ガイダンス	・さくらさくらさくら ・とんかつ	・柳あをめる【短歌】 ・雪の深さを【俳句】	復習	前期単位認定試験	・羅生門
学習内容		・漢字の読み書き ・語句の意味 ・随筆の読解 ・小説の読解 ・言語活動	・漢字の読み書き ・語句の意味 ・短歌の読解 ・俳句の読解 ・言語活動			・漢字の読み書き ・語句の意味 ・小説の読解 ・言語活動
添削課題		添削課題 回数①	添削課題 回数②			添削課題 回数③
面接指導		面接指導 1時間				面接指導 1時間

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	・古文入門 古文の世界へ ・随筆 日々の思い	・詩歌 うたの心 ・物語 古人の生き方		・漢文入門 漢文に親しむ ・漢詩 漢詩を味わう ・論語 論語のことば	後期単位認定試験	
学習項目	・宇治拾遺物語 ・徒然草	・折々のうた ・伊勢物語	復習	・訓読の基本 ・故事成語－三編 ・絶句と律詩－七首 ・論語－八章		復習
学習内容	・歴史的仮名遣い ・語句の意味 ・古文の読解 ・言語活動	・歴史的仮名遣い ・和歌の読解 ・古文の読解 ・言語活動		・漢文訓読 ・漢詩の形式ときまり ・漢文の読解 ・故事成語 ・言語活動		
添削課題	添削課題 回数④	添削課題 回数⑤		添削課題 回数⑥		
面接指導	(面接指導 1時間)					

## 令和6年度 通信教育実施計画 【論理国語】

論理国語	学年	2 学年	単位数	4 単位	課題	1 2 枚	面接	4 時間	使用教科書・副教材等	東京書籍「新編論理国語」 東書 論国 701
------	----	------	-----	------	----	-------	----	------	------------	------------------------

### 1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に向けて、下記の目標を目指していきます。

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ①生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- ②論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ③言葉がもつ価値への認識を深める。
- ④生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 2 評価の方法

#### (1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けられたか。</li> <li>・生涯にわたる社会生活や専門的な学習に必要な国語の特質について理解し適切に使うことができるようになったか。</li> </ul>	<p>創造的・論理的思考や感性・情緒を働かせて思考力や想像力を伸ばし、他者や社会との関わりの中で、国語で的確に理解したり効果的に表現したりするとともに、実社会の視点から、新たな考えを創造する力を高めることができたか。</p>	<p>言葉を通じて積極的に他者や社会と関わったり、思いや考えを深めたりしようとするとともに、言葉の価値を認識し、自覚的に読書に親しんで言葉を効果的に使おうとすることができたか。</p>

#### (2) 評価の方法

ア 年12回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。

イ 年4時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況进行评估します。

ウ 年2回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。

#### (3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

### 3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	広がる風景	・考える手がかり ・人間と知性	・現実の中で ・ものの見方	働くよろこび		時代をひらく
学習項目	・対話とは何か ・世界をつくり替えるために	・少女たちの「ひろしま」 ・「ふしぎ」ということ  ・学ぶことと人間の知恵 ・ラップトップ抱えた「石器人」	・思考の肺活量 ・安心について  ・弱肉強食は自然の摂理か ・複数の「わたし」	・はじめに「言葉がある」 ・楽に働くこと、楽しく働くこと	前期単位認定試験	・最初のペンギン ・豊かさと生物多様性
学習内容	・漢字の読み書き ・語彙の学習 ・文章読解 ・言語活動	・漢字の読み書き ・語彙の学習 ・文章読解 ・言語活動	・漢字の読み書き ・語彙の学習 ・文章読解 ・言語活動	・漢字の読み書き ・語彙の学習 ・文章読解 ・言語活動		・漢字の読み書き ・語彙の学習 ・文章読解 ・言語活動
添削課題	添削課題 1回目	添削課題 2、3回目	添削課題 4、5回目	添削課題 6回目		添削課題 7回目
面接指導			2時間			

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	・新しい視点から ・科学と人間	・豊かな認識 ・知のゆくえ		明日を見つめて		
学習項目	・物語の外から ・カフェの閉店準備  ・鏡としてのアンドロイド ・ロボットが隣人になるとき	・言葉は「ものの名前」ではない ・科学的「発見」とは  ・知識における作者性と構 造性 ・もう一つの知性	後期の内容の復習	・ホンモノのおカネの作り 方 ・未来のありか	後期単位認定試験	1年間の復習
学習内容	・漢字の読み書き ・語彙の学習 ・文章読解 ・言語活動	・漢字の読み書き ・語彙の学習 ・文章読解 ・言語活動		・漢字の読み書き ・語彙の学習 ・文章読解 ・言語活動		後期及び1年間の学習内容を振り返る。
添削課題	添削課題 8、9回目	添削課題 10、11回目		添削課題 12回目		
面接指導		2時間				

## 令和6年度 教科指導計画 【国語表現】

国語表現	学年	3	単位数	3	課題	9	面接	3	使用教科書・副教材等	東京書籍「国語表現」
------	----	---	-----	---	----	---	----	---	------------	------------

### 1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に向けて、下記の目標を目指していきます。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けられるようにします。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばします。
- (3) 言葉が持つ価値への認識を深め、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。

### 2 評価の方法

#### (1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深めることができたか。 話や文章の中で語句を使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができたか。 実用的な文章の種類や特徴、構成や展開の仕方などに理解を深めることができたか。	自分の主張の合理性が伝わるように、適切な根拠を効果的に用い、話の構成や展開を工夫できたか。 視点を明確にして聞き、共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりできたか。 読み手の共感を得るために適切な具体例を配置するなど、文章の構成や展開を工夫できたか。	聴衆に対してスピーチをしたり、面接の場で自分の事を伝えたり、それらを聞いて批評したりする活動ができたか。 初対面の人にインタビューをしたり、報道や記録の映像などを見たり聞いたりしたことをまとめて、発表する活動ができたか。 文章と図表や画像などを関係付けながら、企画書や報告書などを作成する活動ができたか。

#### (2) 評価の方法

- ア 年9回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況を評価します。
- イ 年3時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況を評価します。
- ウ 年2回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況を評価します。

#### (3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

### 3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	分かりやすく説明しよう	身体で表現しよう 「問い」を考えよう	「自分」を表現しよう	論理的な文章を書こう	前期単位認定試験	話し合う力をつけよう
学習項目	なぜ、分かりにくいのか 分かりやすい説明の方法	身体は言葉と同様に何かを 伝える。 質問力とは何か	自分自身を知る（面接・PR）	「論理的に書く」とは？ （小論文）		話し合いの目的とは？ （ファシリテーション）
学習内容	相手・内容・目的・状況を明 確にする。 情報の取捨選択・重み付けを 行う。 情報を伝える順序を考える。 「見やすさ」に配慮し情報を 整える。	他人を演じる。 インプロに取り組む。 目的とテーマを明確にしさ まざまな角度から質問する。 中心的な話題は、問いを重 ね、隠れた情報や価値観を引 き出す。	自分自身をよく知り、就職希 望の企業や進学を志す学校 に合わせ「自分」が伝わるよ うに表現する。	与えられたテーマや資料を もとに自分の思い・考えを 「主張」として組み立て、「根 拠」を明確にしながら、「論 理的な構成」の文章にまとめ る。		参加者一人一人から丁寧に、 公平に、意見・考えを引き出 し、考えや立場の違いや対立 があっても、互いの理解と内 容を深め合いながら話し合 いを円滑に進める。
添削課題	添削課題 1回目	添削課題 2回目・3回目	添削課題 4回目	添削課題 5回目		添削課題 6回目
面接指導			面接指導 2時間（集中）			

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	情報活用力を身に付けよう	説得力のある提案をしよ う 表現を楽しもう	後期単位認定試験			
学習項目	情報を発信するには？ （広報資料）	プレゼンテーションとは？ さまざまな創作活動				
学習内容	正確な情報を用いる。 読者を想定し、読者にとって 有用な内容や理解しやすい 表現を心掛ける。 目的を明確にし、その達成の たまにより効果的な内容を 取り上げる。	相手や目的、場所に応じて機 器や身体表現を効果的に用 い分かりやすく印象的に伝 える。 見たことや感じたこと、考え たことを言葉を用い、表現技 法を取り入れ書き表す。				
添削課題	添削課題 7回目	添削課題 8回目・9回目				
面接指導		面接指導 1時間（集中）				

## 令和6年度 教科指導計画 【古典探究】

古典探究	学年	3	単位数	3	課題	9	面接	3	使用教科書・副教材等	東京書籍「新編古典探究」
------	----	---	-----	---	----	---	----	---	------------	--------------

### 1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に向けて、下記の目標を目指していきます。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにします。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高めます。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって古典に親しみ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。

#### (1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古典の語句の意味や用法を理解するとともに、古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めているか。 古典を読むことを通して、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めているか。 古典を読むために必要な文語の決まりや訓読の決まりについて理解をしているか。	読むことについて、文章の種類を踏まえ、内容を的確に捉えることができるか。 古典の作品や文章について、自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりできるか。 古典の作品を基に自分の感じ方、考え方を深めることができたか。	古典作品の内容や形式などについて、興味のあること、疑問を持ったことについて、調べて発表したり、議論したりすることができたか。 古典を読んで参考にし、和歌や俳諧、漢詩を創作したり、体験したり感じたことを文語で書いたりできたか。

#### (2) 評価の方法

- ア 年9回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況を評価します。
- イ 年3時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況を評価します。
- ウ 年3回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況を評価します。

#### (3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

### 3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	随筆を読む	作り物語を読む	和歌の世界 日記を読む	歴史物語を読む	前期単位認定試験	作り物語を味わう
学習項目	「徒然草」	「竹取物語」	「小倉百人一首」 「土佐日記」	「大鏡」		「源氏物語」
学習内容	語彙学習 文法学習 文章読解 言語活動	語彙学習 文法学習 文章読解 言語活動	語彙学習 文法学習 文章読解 言語活動	語彙学習 文法学習 文章読解 言語活動		語彙学習 文法学習 文章読解 言語活動
添削課題	添削課題 1回目	添削指導 2回目	添削指導 3回目・4回目	添削指導 5回目		添削指導 6回目
面接指導			面接指導 2時間(集中)			

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	故事と小話 史記を読む	中国の思想	後期単位認定試験			
学習項目	「小話-四編」 「鴻門之会」	「儒家と道家」				
学習内容	語彙学習 文法学習 文章読解 言語活動	語彙学習 文法学習 文章読解 言語活動		復習	復習	復習
添削課題	添削指導 7回目・8回目	添削指導 9回目				
面接指導		面接指導 1時間(集中)				